

2024年度

明石市立大蔵中学校 家庭学習の手引き

1. 目標

○自分に合った学び方を見つけ、発展的な問題に取り組める力を身につけるようにする。

2. 中学校の学習の特徴

○中学校の学習内容はより専門的になり、質・量ともに多くなります。自分の特性を理解してくとともに、得意な教科・苦手な教科がはっきりとしてきます。

○自ら課題を見つけ、解決する力が必要になります。

○筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力がさらに必要になります。

○新しく学習したことを覚えるだけでなく、生活に関連づけて自分の考えを言えることが必要になります。

3. 家庭学習のポイント

(1) 学習

○宿題は家でやり終えましょう。その日に習った内容を宿題で確認することが大切です。

○日々の予習・復習を大切にしよう。予習で事前に学ぶ内容を見て分からないことを発見しましょう。復習で分からなかったことを自分の知識にしましょう。

○テストの後は間違えたところをやり直しましょう。自分が間違えたところは知識が不十分だったところです。やり直すことはその知識を定着させることにつながります。

(2) 正しい生活習慣

○毎日規則正しい生活をしましょう。朝決まった時間に起き、決まった時間に寝る、そうすることで生活のリズムを身につけましょう。

○朝起きたら朝ご飯を食べ、エネルギーを蓄えよう。

(3) 学習環境を整える

○「毎日のあゆみ」を記入し、翌日に持っていくものや授業の内容を確認しましょう。

○学習に取り組む前に学習できるスペースを確保しましょう。必要なものがどこにあるか分からないのであれば、片付けから始めましょう。

○テレビ・ゲーム・スマホなど、つい触ってしまう気が散るものは視界に入らないようにしておきましょう。

4. 保護者の方へ

○日々の学習に取り組んでいる様子を見て、ほめたりはげましたりして下さい。

○新聞やニュース、読んだ本などの話題について、家族で意見交換をして下さい。

○学ぶことの意味や学び続けることの大切さについて、話す機会を作ってください。

学校で学習する主な内容 ①1年生 ②2年生 ③3年生

【国語】①物語・説明文・詩・随筆・古文・漢文・文法

②詩・小説・随筆・短歌・情報・評論・古文・漢文・文法

③随筆・小説・論説文・俳句・詩・古文・漢文・文法



【数学】①文字の式・方程式・関数・図形・資料の活用

②式の計算・連立方程式・一次関数・図形の性質と証明・確率・データの活用

③式の展開と因数分解・平方根・二次関数・三平方の定理・相似・円の性質・標本調査

【社会】①地理(世界の諸地域)・歴史(縄文～戦国)

②地理(日本の諸地域)・歴史(江戸～明治)

③歴史(明治～現代)・公民(日本国憲法・政治・経済・国際社会)

【理科】①植物・身の回りの物質・大地・光・音・力

②動物・化学変化・天気・電気

③遺伝・イオン・エネルギー・天体・科学技術



【英語】①be 動詞と一般動詞・what を含む疑問文

②過去と未来の表現・to 不定詞・動名詞・受動態

③現在完了・関係代名詞



家庭学習の方法



国語…○毎日漢字練習をしましょう。

○予習として教科書を繰り返し音読し、わからない語句は意味調べをしましょう。調べた語句は実際に例文の中で使ってみましょう。

○復習として教科書準拠の問題集を繰り返し解きましょう。授業中考えたことをアウトプットして定着させましょう。

○古典教材については、現代仮名遣いに直し、繰り返し本文を音読しましょう。また、口語訳にも取り組みましょう。時代や作者も確認しましょう。

○読書に親しみましょう。

数学…○基礎計算を繰り返し練習し、計算力を高めましょう。

○授業の振り返りをし、わからなかった問題や時間が足りずにできなかった問題をもう一度解いてみましょう。間違えた問題は繰り返し出来るまで練習しましょう。

○テストでできなかった問題は繰り返し練習をしましょう。理解ができれば類似問題に挑戦し、力をつけていきましょう。

○生活の中に置き換えたりして、考える時間を持ちましょう。



社会…○予習として教科書を読み、重要な語句やわからない語句を確認しノートにまとめましょう。

○復習として問題集に取り組み、間違えたところや苦手なところを中心に繰り返し見直しましょう。また、再度教科書を読み、ノートを確認しましょう。重要な語句を書きだし、まとめて整理するのもよいでしょう。

○ワークやプリントのやり直し、タブレットドリルなどを定期的に行いましょう。



理科…○ワークは間違えた問題を中心に2回以上解き、確実に知識を定着させましょう。完成させるだけではなく、繰り返し学習しましょう。重要語句や公式を使えるようになりましょう。

○観察・実験の目的や方法、結果、考察を自分の言葉で説明できるように整理して理解しましょう。

○図やグラフ、文章問題を根気強く考えるよう心がけましょう。

○新聞やニュースを読んだり見たりして、科学的な内容に興味を持ちましょう。



英語…○ワーク等の問題集を3回は繰り返し解きましょう。

○デジタルテキスト等を使って、区切りとリズムを意識して何度も繰り返し教科書本文を音読しましょう。

○綴りと音の関係に留意して英単語を書く練習をしましょう。

○英語の物語などを読んで、長文に慣れ親しみましょう。

○日頃から動画配信サイトやCDなどで、英語を聞く機会をできるだけ多く持ちましょう。

○日常生活のいたるところにあふれている英語に興味を持って見聞きしましょう。